



平成21年9月25日

各位

会社名 株式会社エルモ社
代表者名 代表取締役社長 竹内 清
(JASDAQ・コード 7773)
問合せ先 取締役 常務執行役員
経営管理本部長 渡辺 毅
電話番号 052-811-5133

平成22年2月期第2四半期(連結・個別)業績予想および
通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年4月9日付当社「平成21年2月期決算短信」ならびに平成21年6月29日付当社「平成22年2月期第1四半期決算短信」にて発表いたしました平成22年2月期(平成21年3月1日～平成22年2月28日)の連結および個別の第2四半期および通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年2月期 連結業績予想数値の修正

(1) 第2四半期(平成21年3月1日～平成21年8月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	8,593	247	225	148
今回修正(B)	8,184	225	290	243
増減額(B-A)	△409	△22	65	95
増減率	△4.8%	△8.9%	28.9%	64.2%
(ご参考) 前期実績(平成21年2月期第2四半期)	9,543	515	512	291

(2) 通期(平成21年3月1日～平成22年2月28日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	16,298	477	434	267
今回修正(B)	18,625	475	512	376
増減額(B-A)	2,327	△2	78	109
増減率	14.3%	△0.4%	18.0%	40.8%
(ご参考) 前期実績(平成21年2月期通期)	17,825	624	531	314

2. 平成22年2月期 個別業績予想数値の修正

(1) 第2四半期 (平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	7,860	40	21	1
今回修正 (B)	7,110	△ 257	△ 214	△ 142
増減額 (B-A)	△ 750	△ 297	△ 235	△ 143
増減率	△9.5%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年2月期第2四半期)	8,514	248	238	126

(2) 通期 (平成21年3月1日～平成21年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	15,271	96	58	7
今回修正 (B)	13,766	△412	△84	△76
増減額 (B-A)	△1,505	△508	△142	△83
増減率	△9.9%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年2月期通期)	15,699	216	143	43

3. 修正の理由

前年後半において州財政不安から停滞を示した米国初等教育市場 (K-12) における書画カメラ需要は当第2四半期において回復し順調に拡大いたしましたものの、経済環境悪化による国内販売の不振ならびに海外売上比率が高い中で円高が前期より進行したことで当第2四半期の売上高ならびに営業利益が低下いたしました。一方、経常利益は仕入為替換算差益が増加したことで改善いたしました。また、政府より優遇税制の適用を受けておりますタイの生産子会社 (ELMO Industry (Thailand) Co., Ltd.) で、米国K-12市場向け書画カメラの大幅増産により利益が大きく増加し、当第2四半期の連結純利益は期初予想を上回りました。なお個別につきましても同様の理由により修正いたします。

通期 (平成21年3月1日～平成22年2月28日) の業績予想につきましては、国内における販売環境の厳しさは続くものの主力製品である初等教育向け書画カメラ販売は第3四半期以降も堅調に推移すると見込めること、チノンテック株式会社より事業を承継するSUWAオプトロニクスが2ヶ月加わることを勘案して見直しを行いました結果、連結売上高で18,625百万円、連結営業利益は475百万円、連結経常利益は512百万円を見込みます。

なお個別につきましては、初等教育用書画カメラへの引合が活発になっておりますものの販売環境全般の厳しさは変わらず、売上高で13,766百万円、利益では子会社配当が見込めるものの当期純利益で△76百万円を見込みます。

(業績の予想に関する注意事項)

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上